

第171回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 平成23年9月8日(木) 11:00~12:00

2 開催場所 宇都宮グランドホテル会議室

3 委員の出席 委員総数 7人  
出席委員数 7人

(1) 出席委員の氏名 早川 富美子(委員長)  
片山 貴之(副委員長)  
青木 敬信  
古磯 勝子  
片岡 真理  
森内 律子  
島田 恭子

(2) 放送事業者側出席者 神野 俊彦(代表取締役社長)  
佐藤 望(放送部部长)  
古寺 雄史(放送部主任)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換  
(2) その他  
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

9月5日に放送した「MY CITYとちぎFM」について、試聴と意見交換を行った。

事業者 この番組は、栃木市が、国の雇用対策「緊急雇用基金再生事業」を使い、市のブランドイメージ向上をはかるため提供しているもので、4月から毎週月曜日の午後3時から55分間の生放送をおこなっています。

この番組の制作にあたって、新規に3名の契約社員を採用し、栃木市で活躍している市民の紹介、観光スポット紹介、グルメ、生レポートなどの情報を放送しています。

## 【 番 組 の 試 聴 】

委員：パーソナリティもリポーターも明るく元気な印象で、声も安定していた。  
番組全体から、栃木市の新たな魅力を伝えようとしていることが感じられ、  
一生懸命さが伝わってきて、好感がもてた。

委員：取材では、いずれも興味深い内容を取り上げており、  
また、なるほどと思わせるような情報もあり、その取材先に行ってみたくなった。

委員：パーソナリティの松浦さんは、滑舌もよく、明るく元気だが、  
一方では、トーンが単調で、間をあまり取らずに、  
活字を詰め込むような話し方が気になった。  
そのためか、長く聴いていると疲れる感じがして、あまり楽しさが感じられなかった。

委員：レポート冒頭での、現地の状況説明が物足りなく、その様子をイメージできなかった。  
また、ぶどうを試食した際の感想コメントにも、もうひと工夫ほしかった。

委員：例えば、そのコーナーでは、人物を紹介するのか、その仕事の内容を紹介するのか、  
構成が若干、あいまいな感じもした。  
それぞれのコーナーで、伝えたいことをもっと整理してほしい。  
他の市が提供する行政番組と差別化をはかるため、いろいろと工夫してほしいと感じた。

委員：月に1回の連載形式でインタビューを展開している歌麿の話は、  
一度聴いただけでは、専門的すぎて理解することが難しいのではと感じた。  
専門家に話を一方的に任せるばかりではなく、  
専門家とともに現地に出向いて、専門家こだわりのスポットを紹介するなどの  
アイデアがあってもいいと思った。

委員：栃木市との合併によって、町名が消えた、旧大平町などの名産品を  
積極的に取り上げるなどして、この番組が、新たな栃木市のブランド品を  
PRする場となってほしいと思った。

(以上)

(2) その他  
なし

(3) 次回開催日程について

次回の開催を10月6日(木)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日

なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

(1) 放送 9月25日(日)午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内

(2) 書面 本社事務所に備え置き

(3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項

なし